

西暦 2023 年 2 月 28 日

医薬品等適応外使用検討会議で承認された治療法

当院の医薬品等適応外使用検討会議にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院のホームページにて情報公開をすることにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

記

実施内容	デキサメタゾンを添加した各種神経ブロック
実施責任者	鈴鹿回生病院 病院長 岡宏次
対象者	当院で加療を受けられる患者で、医師が術後疼痛管理のためデキサメタゾンを添加した神経ブロックが必要と判断した場合
承認日	2023 年 2 月 28 日
対象期間	承認後より永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】整形外科手術では術後疼痛が強く、術後疼痛管理に難渋することが多くあります。その対策の 1 つとして長時間作用効果がある麻酔薬を使用していますが、その効果は約 5 時間程度で、夜間には麻酔の効果は消失し消炎鎮痛剤を追加する必要があります。それでも疼痛が持続すると非麻薬性の鎮痛薬まで使用しています。近年各種神経ブロックを行う際にデキサメタゾンを添加することで麻酔薬の効果出現時間が短縮され、また鎮痛効果が延長するとの報告が多く見られるようになりました。本剤使用方法は適応外となりますが、当院では十分な鎮痛が必要と判断した患者に対しデキサメタゾンを添加した神経ブロックを使用したいと考えています。</p> <p>【想定される不利益と対策】腋窩神経ブロック、腕神経叢ブロック、坐骨神経ブロックにデキサメタゾンを添加した報告の論文とペインクリニック治療指針があります。すべての論文で持続時間は約 2 倍となっており、合併症もほとんどないことが報告されています。腕神経叢ブロックでは横隔神経麻痺の報告がありますが、これは通常の麻酔でも起こりえる合併症でエコー下に慎重に投与すれば予防できるものと考えています。また高血糖を引き起こすことも報告されていますので投与後は厳重に観察を行うことで早期に発見し適切に対応できると考えています。本剤使用に伴う有害事象、健康被害が生じた場合は保険診療範囲内で適切な診察と治療を行います。</p>
お問い合わせ先	鈴鹿回生病院 薬剤管理課 代表 059-375-1212 (内線 2500)

以上